

読み聞かせにチャレンジ！～読み方の練習～

子ども司書講座 めざせ！キッズボランティア 新聞 第9号



第9回目の講座は、読み方の練習をしました。前回の講座では、絵本の選び方や持ち方のお勉強をしました。

今回も図書館でおなじみのボランティアをしている図書館の会の方々がお手伝いとして、みなさんに指導をしてくださいました。

まずは、前回の復習からスタートです。読み聞かせて読む絵本は、沢山の人がよく見えるように、絵がはっきりしているものや、絵と文のバランスが良いものを選ぶということを勉強しました。



絵本の持ち方も重要です。せっかく良い絵本を選んでも、持ち手で絵を隠してしまったり、読むことに集中しすぎて、顔で絵を隠してしまうといけません。

ページをめくるときも、本に「おろせ」をつけておく方が良いですね。さあ！ここまできたら、次は読み方の練習です！皆さんが読むという事は聴いている人がいます。どんなことを伝えたいのかな？どんなことを感じてほしいのかな？一緒に楽しみたい！いろいろな考えをみましょう。読み方はいろいろコツがあります。

3つのポイントがあるよ！

1. 下読みをする	どんなストーリーか知るためにしっかりと下読みをしよう！
2. 読みにくい言葉を練習	安心して読むことができるよ♪
3. ゆっくり、はっきり、ていねいに！	ゆっくりはっきり読むと、一つまとまりのあるお話として聴いている人に届くよ！

絵本の読み方

絵本を選んだら、あらかじめ下読みをしましょう。どんなストーリーかわかります。お話の流れに合わせてページをめくることができると、どんな雰囲気か読んだらいいのかなどがわかります。

下読みのコツは、自分自身が最初の聴き手になるつもりで、声に出して読むことです。

次に、読みにくい言葉の練習をしましょう。途中でつっかえてしまったり、読むことに慌ててしまったりすることがあります。安心して読むように、何度も繰り返し練習してみましょう。

声に出して読むと、ことばの意味(場面や状況、登場人物の行動など)がわかるだけでなく、それが、どのような表現で語られているのかも確認することができると、そして、最後に「ゆっくり、はっきり、ていねい」をポイントにして練習することが大切です。ゆっくり、しっかりと声で読むと、読む人にも聴く人にも、はっきりとお話の世界が見えてきますよ。

このポイントを覚えて、どんどん練習してみましょう！

みんなで練習！

読み方のコツを勉強したあと、さっそく、みんなで練習をしました。じっくり絵本を読む子もいれば、友達に読んでアドバイスを教え合う子もいました。恥ずかしがらず、みなさん、本番(第一〇回講座)に向けて真剣に練習をしていました！



ボランティアさんのお手本！とても参考になりました！